

山 事 研 會 報

山梨県公立小中学校事務職員研究会 編集発行人 調査広報部



第 18 号 平成 20 年 10 月 16 日 発行

40周年記念 全国公立小中学校事務研究大会(福島大会)

開 催 要 項

- 1 大会テーマ 「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」
—安全と信頼、あんしんを学校事務から—
特集テーマ ～情報管理と危機管理、学校事務～
- 2 目 的 学校がより安全・安心な場所となるため、安全管理や危機管理、情報管理の在り方を追究し、信頼される学校づくりを推進する事務職員の役割を考える。

	9:30	10:20	11:30	12:30	13:30	15:15	16:30
8月6日(水) 全 体 会 (1日目)	受付	開会式	文部科学省 記念講演	昼 食	記念講演	40周年記念事業 学校事務のグランド デザイン策定事業報告	

	9:00	9:30	12:30	13:30	16:30
8月7日(木) 分 科 会 (2日目)	受付	分科会討議	昼 食	分 科 会 討 議	

※ ビッグアイ会場(7階 大会議室 本部演習講座)については、9:45から受付開始、10:00開会と、時刻が異なりますのでご注意ください。

	9:00	9:30	10:15	11:45	12:15
8月8日(金) ま と め の 会 (3日目)	受付	大会報告	全体研究会	閉会式	

【記念講演】

福島大会、8月6日(水)1日目 記念公演と40周年記念事業に参加してきました。記念公演は「脳を育む ー脳科学からのメッセージー」でした。講演して下さる先生の話がおもしろくて思わず聞き入ってしまいました。

脳を活性化させるには次の3点がポイントとなります。

- ①読み書き計算 ②コミュニケーション ③手や指を使う

日常生活で物忘れ、あれ、それ、何してたっけ?なんてことが多くなってきたら要注意です。思い当たることだらけで・・・今から脳を鍛えなくてはと痛感した講演でした。



平成20年度功労者で、山梨からは中村輝先生が表彰されました。おめでとうございます。当日配られた速報No.2に写真入りで紹介されています。



分科会については 芦川小学校 飯田千恵美先生 と

日野春小 斎藤和美先生 から、感想をお寄せいただきました。

【第4分科会】（近畿地区） 近事研 「私にもできる！ 自己改革のススメ」
—提案型事務職員への道も一歩から—

芦川小学校 飯田千恵美先生

私の参加した第4分科会は、近畿地区から「スクールガイド作成」と「子ども・保護者・地域との関わり」について提案型事務職員への道の実践報告と京都産業大の西川教授による「学校教育と事務職員の役割—連携の視点から」についての講演、そして5人の方によるパネルディスカッションという内容でした。分科会に参加して、これからの事務職員は、学校全体を見ていく意識が大切であり、職員間・小中間・地域との連携を図りながら、気づいたことや改革したいことを事務職員の立場で発信していくことが求められるのかなと感じました。もちろん一人では弱いので、組織化を計り同じ気持ちで取り組んでいくことが大切だと思います。

日野春小 斎藤和美先生

私は、第4分科会の『私にもできる！自己改革のススメ』に参加してきました。近畿地区の事務職員の方々の実践発表には、とても共感でき、また、事務職員から提案・発信していくことの素晴らしさと難しさを感じました。スクールガイド作成の実践を聞いていて印象に残った事は「自分の学校の事をどれくらい知っているか？」「私は事務だからと、自分で壁を作っていないか？」という言葉です。近畿地区の先生方は、スクールガイドを作成してみて初めて、自分が学校の事をあまり知らなかった事に気づいたそうです。私も、学校に勤めてはいてもほとんど知らないなあと反省しました。そして、他職との壁。私も無意識に作っているような気がします。私ももっと学校を知って、他職の先生方とはまた違う目線で、教育活動に積極的に関わって行けたらいいなと思いました。

◆第40回関東地区学校事務研究大会（山梨県甲府市開催）に向けて

山梨大会の要項が全校へ配布されました。

平成21年1月29日（木）～30日（金）に開催されます。

全事研に加入して初めての山梨大会で、大会に向け着々と準備が進んでいます。7月には12回



目の準備委員会が開かれ、当日の分担の確認や実際に使う会場の確認などを行いました。大勢の方のご参加をお待ちしています。

申込み締め切りは 11 月 17 日（月）となっています。各自もしくは地区単位で申込みをトップツアー甲府支店へお送りください。

◆全体会の講演

ルネサス高崎女子ソフトボール部 総監督の宇津木妙子先生をお招きします。オリンピックでも解説者として出演し、知っている方も多いのでは？ 当日、どんなお話が聞けるのかとっても楽しみです。

◆分科会

山梨から「手をつなごう そこに楽しい学校が」ー共同実施を通してー をテーマに発表があります。

◆これからのこと…

全事研に加入しこれからも輪番でレポート発表や山梨での大会を開くこととなります。しかし会員数が少ないためこれから大会をうって行くには大変厳しい状況があります。（今回も会員以外の方にも協力いただいています。）

私たちがおかれている立場が年々厳しいものになっています。他県では学校事務の外部委託が始まり山梨にも導入されるのではないかと心配です。また県教委主催の研修会で顔を合わせるだけにとどまり、教研（組合）でしか他支部の研究内容を知ることが出来ない現在。他支部との交流が全くない状況はどうにかしたいと思いませんか？ そこで山梨全体で加入している組織（公のもの）が不可欠です。

他支部との交流がないため、同じような内容を研究していたり、とっても便利なものを作り事務処理を工夫して行っていることなど、全県でお互いに持っている財産を共有できたら事務の効率化につながり、よりよい刺激にもなり、資質向上につながるのではないのでしょうか。

個人的に便利なファイルをもらったり、他の支部でやっている実践を聞いたりしていますが、それが県全体で公開できる場があればいいなと最近つくづく感じます。山梨県の事務職員がみんなで協力して情報交換できたらいいなと思います。

山事研がみんなの情報交換の場になれば、私たちの結束もより深いものになるのではないのでしょうか？

